

レッスン室にお邪魔します!

～レッスン環境のつくりかた～ 第1回



北川先生の
レッスン室は、
JR深谷駅から
徒歩10分ほど
の中山道沿いに
ある。やさしい
ベージュ色の外



北川 由美子先生

(埼玉県深谷市)

2010年春の新連載「レッスン室にお邪魔します!～レッスン環境のつくりかた～」は、ピティナ・ホームページで行っている「ピティナ教室紹介」サービスに、ご自身のレッスン室の写真をお寄せくださっている先生方の中からお一人を選び、実際にレッスン室にお邪魔して、その雰囲気や工夫を紹介するコーナー。

第1回目は北川由美子先生のレッスン室にうかがった。

壁に9つの正方形の窓のある印象的な建物だ。

とびらをあけると、ショパンの顔がかたどられた額縁、ピアノを弾く女の子の小物が置かれたテーブルがお出迎え。ピティナ・ピアノステップチラシが置かれているところが嬉しい。中に入

スンス室をつくりあげた。最もこだわったのは、天井の高さ。ピアノの真上の天井は、2階分の高さなので、響きが非常に良い。

「居心地のよい空間で音楽を楽しみたいと思っていました。生徒たちは、良い響きの中、気持ちよく弾けるのが嬉し



▲「北川ミュージックアカデミー」の看板。

ると開放感のある空間があらわれる。北川先生のレッスン室だ。

2年半ほど前に自宅の改装とあわせてこのレッスン室をつくったと言う。先生の旦那様も音楽教師(音楽専門)ということもあり、夫婦でアイデアを出しながら、理想のレッス

いようです。本番直前の練習や録音などの用途で生徒に貸し出すこともあります。」確かに、このレッスン室の中にとりラックスしつつも気持ちがすうつと改まるようだ。あたたかみのある間接照明も、この部屋の雰囲気作りに一役かっている。

様々な設備も整っている。「ちょっとしたお菓子や飲み物を出せるように」と簡易キッチンもとつけた。お客様用の椅子も30脚ほど用意してある。よい音響を楽しめるようオーディオ・スピーカーも設置されている。

「今はレッスン室として使っていますが、サロコンサートのような気軽にコンサートを将来的にやれたいなと思っています。生徒たちには自然体で人前で弾く機会をもっと持つてもらいたいですし、お客様が集まって気軽にクラシック音楽を聴いてもらえる空間になると嬉しいですね。」

